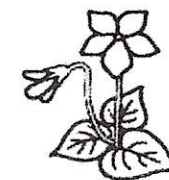




こちら、三中図書館 3月号



市川市立第三中学校図書館 2023. 3. 1.

おすすめの本

3年生のみなさん、
卒業の日まであとわずかですね。
名残惜しいです。



*****2022年度の三中図書館も
店じまいが近づいてきました。******

3年生：すでに貸し出しは終了しました。

3月6日（月）までに
すべての本を返却しましょう。

1・2年生：3月8日（水）貸し出し最終日

3月17日（金）までにすべての本を返却し
ましょう。

手元に督促状が届いてしまった人は、
すぐに図書館に足を運んでください。
データに間違いはないか、いつ返却できる
のか、確認しましょう。



*****不明本の捜索にご協力を。******

2月21日に実施した蔵書点検の結果、11冊の本が
ゆくえ不明でした。裏面に不明本すべてのタイトルを載せ
ました。身の回りにこれらの本がないかどうか是非見回し
てみてください。教室の大掃除の時にも、放置されている
本がないかどうか気を付けてみてください。
みんなの力で1冊でも多くの不明本を探し出しましょう。

『14歳からの哲学 考えるための教科書』 池田晶子

あなたは哲学に興味がありますか？「哲学」と聞くとなんだか難しそうだと
感じますよね。ソクラテスやアリストテレス、デカルト、ニーチェなどの名前を
思い浮かべる人もいるでしょう。しかし著者の池田さんは、これらの著名な哲学者の本を読んで覚
えることは「哲学」ではないと言います。

では「哲学」とは、いったい何なのでしょう？

池田さんはこの本を、「君は今生きているということは素晴らしいと思っているか、それともつま
らないと思っているか？」という問いから始めています。あなたはどうでしょう？

人それぞれ答えは違うでしょう。どちらとも言えないという人も多いかもしれませんね。

「素晴らしい」と思う人にも「つまらない」と思う人にもそれぞれ理由があって本当にそう思っ
ているわけです。でも池田さんは「本当にそう思う」と「本当にそうである」は違うことで、「本当
にそうである」事をつかむために徹底的に考えることが「哲学」なのだと言っています。

では「生きていること」は本当は「素晴らしい」のか「つまらない」のか。ここから「考える」こ
とが始まります。第一歩として、では「生きている」とはどういうことか、あなたはちゃんと分
かっているのでしょうか？心臓が動いていること？脳波が出ていること？あなたが「自分は生きてい
る」と感じるのはどんな時？

当たり前としてきた事を自分が本当に分かっているのか疑って考え直してみる。そういう作業を
丁寧に積み重ねて一步一步確かめながら進むのが「考える」ということだと言うのです。

この本では、「言葉」「自分とは誰か」「心はどこにある」「死をどう考えるか」
等々30のテーマを扱っています。池田さんのリードに従って「考える」うちに
当たり前だと思ってきたことが揺らぎだす不思議な感覚を味わえたら、あなた
はもう哲学の世界に足を踏み入れているのです。

